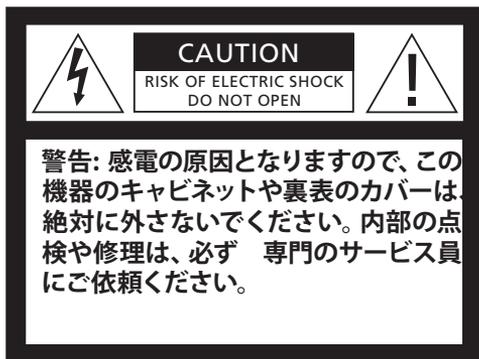


BeoVision 4

ガイド



警告: 火災や感電の原因となりますので、水がかかる場所や極端に湿度の高い場所で、この機器を使わないでください。また、花瓶など液体が入った容器は、この機器の上に置かないでください。

この機器と電源を完全に切り離すためには、電源コードをコンセントから抜いてください。接続する時は、抜き差しがしやすい場所にあるコンセントを選んでください。



正三角形の中に稲妻が入った左のマークは、この製品の内部で、感電の危険をもつ絶縁されていない高電圧が、発生する可能性を示しています。



正三角形の中に感嘆符が入った左のマークは、この製品の取扱説明書の中に、操作と保守に関する重要な情報が含まれていることを示します。

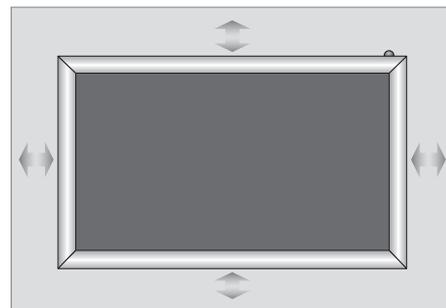
このガイドでは、Bang & Olufsen BeoSystemとプラズマスクリーンの接続、セットアップ、および使用方法について説明していきます。

スクリーンを壁掛けブラケットに取り付ける方法については、ブラケットと同封のガイドを参照してください。

この章では、BeoSystemを使用する場合のスクリーンのセットアップ手順を説明していきます。

注意

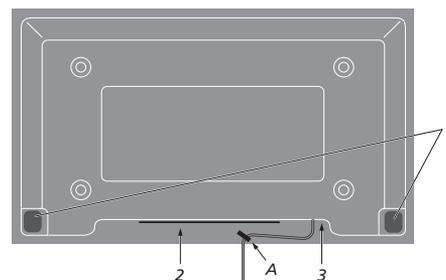
- このスクリーンは、気温が摂氏10-40度の、乾燥した家庭環境での室内使用のみを前提として設計されています。
- 大気圧が833ヘクトパスカル以下となる高地(約1500メートル以上)では、画像が歪む可能性があります。
- このスクリーンの上には、絶対に物を置かないでください。
- スクリーンを持ち上げる際には、上下の先端部分(または、あればハンドル)をしっかりとつかんでください。スクリーンを移動する際には、常にまっすぐに立てた状態で持ち運ぶようにしてください。
- このスクリーンは、スクリーンだけで立つように設計されていません。壁掛けブラケットやスタンドでしっかりと固定するまで、しっかりと支えるようにしてください。損傷を避けるため、製品にはBang & Olufsenの専用スタンドまたはブラケットをご使用ください。
- スクリーンを壁掛けブラケットに固定する際には、製品の上部と底部、および両脇に、10 cmの空間を確保してください。
- このスクリーンの分解は、絶対に試みないでください。スピーカー内の点検や修理は、サービス技術者にお任せください!



通気のため、スクリーンの周囲に、適切な空間を確保してください。スクリーンが過熱する可能性がありますので、テレビ裏側の通風口は、絶対にふさがないでください。

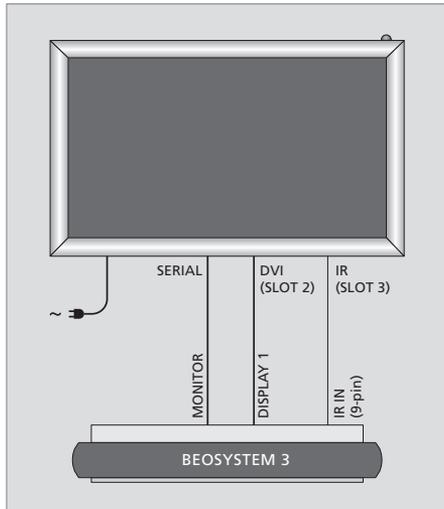
接続パネルの概要

- 1 スピーカー接続パネル。Bang & Olufsen BeoSystemとスクリーンのセットアップを行う場合には、これらのソケットは使用しません。BeoSystemのPower Link ソケットをご使用ください。
- 2 システム接続パネル。
- 3 電源への接続。



安全上のため、ケーブル・クランプ(A)で本体のリード線を固定してください。そうしないと、電源ケーブルがコンセントから抜けてしまう可能性があります。

ケーブル接続



IR受信機: このスクリーンには、IR受信機が内蔵されています。したがって、BeoSystem リファレンスブックに記述されているように、IR受信機を取り付ける必要はありません。プロジェクタースクリーンが使用中に内蔵のIR受信機をカバーしてしまう場合のみ、2つ目のIR受信機をを設置し、システムの2番目のIR-INソケットに接続してください。



スクリーンとBeoSystemの両方とも、電源から切り離してから、ケーブルを接続するようにしてください。

スクリーンを接続する際には、適切なケーブルを使用するようにしてください。BeoSystemに関しては、このページの図とリファレンスブックを参照してください。どのケーブルを使えばよいか分からない場合は、Bang & Olufsen 販売店にお問い合わせください。

すべて接続し終わったら、システムに電源ケーブルを接続します。このスクリーン（およびBeoSystem）を完全に電源から切り離すには、電源ケーブルをコンセントから抜いてください。ですが、このスクリーンは、すぐ使えるように、常にスタンバイ状態のままにしておいてください。

電源のリード線をケーブルバンドで固定するようにしてください。そうしないと、電源ケーブルがコンセントから抜けてしまう可能性があります。

接続パネル上のソケット

スクリーン背後の接続パネルには、BeoSystem 接続用ソケットと電源接続用ソケットがついています。

PC INと書かれたソケット（小さなふた付き）は、Bang & Olufsen システムとのセットアップには使用しません。

SLOT 2 (DVI接続)

BeoSystemのDISPLAY 1と書かれたソケットと接続するためのソケットです。

SLOT 3 (IR接続)

BeoSystemのIR IN (9-pin)と書かれたソケットと接続するためのソケットです。

SERIAL

BeoSystemのMONITORと書かれたソケットと接続するためのソケットです。

Auto Colour Management 機能は、120 時間使用すごとに、スクリーン上の色の变化を自動的に補正します。こうして、スクリーン上では常に完璧な色が再現されます。BeoSystem TV セットアップメニューを使って、手動でこの機能を有効化することもできます。

較正中は、スイッチを切ったり、電源ケーブルをコンセントから抜かないようにしてください。

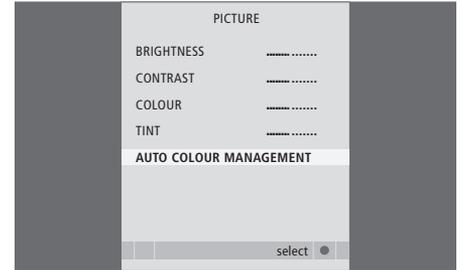
自動較正手順

最後の較正から 120 時間使用した後でテレビのスイッチを切るためにスタンバイボタンを押すと、ブランドのスクリーンにグレーのスケールバーが表示され、センサーアームがテレビのフレームから下方向に振れます。センサーアームの較正中は、バーの色が様々に変化します。較正終了後、センサーアームは元に戻り、テレビのスイッチが切れます。

手動較正手順

システムがテレビモードになっていて、スイッチを入れてから 2 分以上経過している場合には、画面メニューの Auto Colour Management 機能を使用することができます。

- > TV を押し、テレビのスイッチをオンにする。
- > Menu を押し、TV SETUP メニューを呼び出したあと、▼ を押し、OPTIONS を強調表示させる。(Beo4: ▼ を使う)。
- > センターボタンを押して OPTIONS メニューを呼び出したあと、▼ を押し、AUTO COLOUR MANAGEMENT を強調表示させる。(Beo4: GO と ▼ を押し)。
- > センターボタンを押して、AUTO COLOUR MANAGEMENT を起動します。(Beo4: GO を押し)。メニューからすべてのテキストが削除され、テレビのフレームからセンサーアームが下方向に振れ、較正が始まります。スクリーン上のバーの色が様々に変化します。較正終了後、バーが消え、センサーアームは元に戻り、最後に選択したソースに戻ります。「CALIBRATION COMPLETE」というメッセージが、数秒表示されます。



センサーアームが完全に下方向に振れていないと較正は開始されず、必要に応じてアームは元に戻ります。較正が自動的に始まった場合には、テレビは次にスイッチが切れたときに較正を行おうとします。問題を解決するには、お買い求めになった Bang & Olufsen ストアにご連絡ください。

クリーニングと保守

スクリーンのクリーニングなどの通常のお手入れは、お客様ご自身にお願いしております。このページの説明に従って、実行してください。

定期的な機能チェックなどにつきましては、Bang & Olufsen 販売店にご相談ください

キャビネット表面

ホコリなどは、乾いた柔らかい布で拭き取ってください。油汚れやしつこい汚れなどは、台所用等のマイルドな洗剤を数滴だけ混ぜた水にケバのない布を浸し、その布をよく絞って拭き取ってください。

プラズマスクリーン

必ず、付属している専用クロスを、乾いた状態のまま使ってください。液体クリーナーやスプレー式クリーナーは、絶対に使わないでください。

同じ静止画像だけを、長時間プラズマスクリーンに表示し続けないでください。スクリーン上に、いわゆる"焼け付き"として残ってしまう恐れがあります。このような静止画像には、ロゴ、ビデオゲーム、コンピュータ画面、4:3フォーマット内の画像が含まれます。

ゴムやPVCを含む物質を、長時間スクリーンと接触させたままにしないようにしてください。



このスクリーンやBeo4のクリーニングに、アルコールなどの溶剤は絶対に使わないでください。

 本製品は、EC指令 1999/5/EC および
2006/95/EC に規定されたすべての条件を
満たしています。

